

橋本博孝先生 略歴

昭和47年	3月	奈良教育大学 卒業
昭和47年	5月	奈良教育大学教育学部付属小学校・講師
昭和48年	4月	奈良教育大学教育学部付属小学校・非常勤講師
昭和48年	12月	奈良教育大学教育学部付属小学校・教諭
平成17年	11月	奈良教育大学教育学部付属小学校・教頭(副校長)
平成19年	4月	三重大学教育学部・教授
平成21年	4月	三重大学教育学部附属小学校・校長(平成25年3月)
平成25年	4月	三重大学教育学部・特任教授(平成26年3月)

橋本博孝先生のご業績

【著書】

*書名の下に、執筆された項目等を記す。

1. 『子づもがわかる授業』1976年5月 汐文社

一・国語 入門期国語（二年）―順序よくことばがわかる―

一・科学的な系統で文字を教える。

三・日記：「ぼくわじろしやにのて：」―ことばのきまりの指導について―

2. 『授業の創造』1979年4月 民衆社

第Ⅱ部 各教科の授業

I・国語 主題の理解をめぐって―『二銭銅貨』六年

3. 『教科の本質と授業』1981年11月 国土社

Ⅱ・国語科の本質と文学教育

4. 『教育の創造と追求・Ⅰ』1986年11月 国土社

Ⅲ・自治の力を養う児童会活動

5. 『教育の創造と追求・Ⅳ』1988年10月 国土社

I・国語科

一・国語科の本質と文学教育

四・お母さんの木―五年生

6. 『道德教育実践の探究』1990年2月 あゆみ出版

四・小学校中・高学年の道德教育

三・国語科教育と道德教育―「川とノリオ」と子どもたちの出会い―

7.『新訂文学読本はぐるま 指導の手引き』1990年6月 部落問題研究所
10 作品を担当

8.『文学の力×教材の力 小学校編3年』2001年3月 教育出版
モチモチの木〔斎藤隆介〕豆太の自立にむきあう

9.『自立する学び』2006年12月 かもがわ出版
はじめに―子どもたちの「戦時」
第8章 「自立する学び」をもとめて みんなの学校

10.『「読むこと」の術語集―文学研究・文学教育―』2014年8月 双文社出版
元の文章／原文

【論文】

1.「今日の子びもと国語教育」1980年2月『日本文学』第29巻第2号

2. 『『おひりじぞう』の実践』1982年3月『国語教科書攻撃と文学の授業』青木書店
3. 「文学の教材と授業『スーホの白い馬』」1987年2月『月刊どの子ものびる』第10巻第11号
4. 「入門期の文学教育」1987年9月『月刊どの子ものびる』第11巻第6号
5. 「文学の授業『木竜うるし』」1987年10月『月刊どの子ものびる』第11巻第7号
6. 「けずりたつの鉛筆で（一年生の文字指導）」1991年4月～1992年3月『月刊どの子ものびる』第15巻第1号～第13号
7. 「『木竜うるし』と子どもたち」1992年5月『わたしたちの学校づくりーたしかな学力と自立の基礎をー』
8. 「日本語の音と文字の指導ー小学校におけるローマ字学習の意義ー（I）」1993年3月『奈良教育大学国文ー教育と研究ー』第16号
9. 「わたしたちのあゆみと課題」1993年11月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「子どもたち」

どもたちとともに』

10. 「学校文集『やまびい』と子どもたち」1993年11月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「子どもたちとともに」』
11. 「日本語の音と文字の指導ー小学校におけるローマ字学習の意義ー(Ⅱ)」1994年3月『奈良教育大学国文教育と研究』第17号
12. 「日本文学の古典に描かれた親と子『日本國現報善惡靈異記』」1994年4月『奈良県教育サークル連絡協議会年報「子どもと歩む」』第1号
13. 「子どもたちのくらしと文学教育ー『ひるのつばき』ー」1994年11月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に94」』
14. 「日本文学の古典に描かれた親と子『古事記』」1995年2月『奈良県教育サークル連絡協議会年報「子どもと歩む」』第2号
15. 「子どもたちのくらしと文学教育」1995年8月『日本文学』第44巻第8号
16. 「日本文学の古典に描かれた親と子『蜻蛉日記』」1996年4月『奈良県教育サークル連

絡協議会年報「子どもと歩む」第3号

17. 「子どもの本音を育てるー文学作品をとおして自分をみくめさせるー」1996年5月『作文と教育』(5月臨時増刊)第47巻第6号 百合出版

18. 「いっぱいの空洞化と文学教育」1996年6月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'95」』

19. 「いれからの研究と実践の課題」1996年6月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'95」』

20. 「ちいちゃんのかげおくり」1996年11月『日文協 国語教育』第28号

21. 「日本文学の古典に描かれた親と子『今昔物語集(1)』」1997年4月『奈良県教育サークル連絡協議会年報「子どもと歩む」』第4号

22. 「自立と文学教育ー『ネギをうえた人』での試みー」1997年8月『日本文学』第46巻第8号

* 『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'96」』(1997年5月)に詳細な実践記録が掲載されている。

23. 「日本文学の古典に描かれた親と子『今昔物語集（2）』」1998年4月『奈良県教育サークル連絡協議会年報「子どもと歩む」』第5号
24. 「ひらがな指導の試み」1998年4月『奈良県教育サークル連絡協議会年報「子どもと歩む」』第5号
25. 「生活綴り方教育に学ぶ『主体－主体関係論』（久田敏彦）を受けい」1998年5月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'97」』
26. 「主人公になる場をうばわれている子どもたちの学びの嬌小化と文学教育」1999年7月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'98」』
27. 「日本文学の古典に描かれた親と子『平家物語』」2000年4月『奈良県教育サークル連絡協議会年報「子どもと歩む」』第7号
28. 「新しい学習指導要領の課題を考えるー国語科ー」2000年11月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'99/00」』
29. 「『ぶんべりと山ねい』を読む」2000年11月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要

「みんなの胸に'99/00」』

30. 『総合的な学習の時間』と教科教育」2000年11月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'99/00」』

31. 「情報化時代のいっぽの危機」2001年3月『日本文学』第50巻第3号

32. 「いっごらの読みから意味の語り合いくー石垣りんの『祖国』のとらぐみを例にー」2002年5月『作文と教育』第53巻第5号 百合出版

* 『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'01」』（2002年6月）に詳細な実践記録が掲載されている。

33. 「子どもの権利としての自立ー教えと学びの輝きあう教育課程づくりー」2002年6月『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'01」』

34. 「作品・子ども・授業」2002年6月『語り合う文学教育』創刊号

35. 「日本文学の古典に描かれた親と子『古今著聞集』」2002年8月『奈良県教育サークル連絡協議会年報「子どもと歩む」』第9号

36. 「あふれ出る意味ー『川とノリオ』のとりくみー」2003年3月『日文協 国語教育』第33号

* 『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'02」』（2003年6月）に詳細な実践記録が掲載されている。

37. 「教育の公共性をめぐる一歩みだそうとしている道ー」2003年6月『奈良教育大学 付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'02」』

38. 「語られているものとその意味ー『石になったタープ』のとりくみー」2003年7月『語り合う文学教育』第2号

39. 「『花咲き山』を問いなおす」2003年11月『月刊国語教育』東京法令出版

* 『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'03」』（2004年6月）に詳細な実践記録が掲載されている。

40. 「教育基本法と教育の公共性ー'03から'04くー」2004年6月『奈良教育大学付属小学校 教育研究紀要「みんなの胸に'03」』

41. 「『川とノリオ』ー沈黙の意味を問うー」2004年12月『語り合う文学教育』第3号

* 『奈良教育大学付属小学校教育研究紀要「みんなの胸に'02」』（2003年6月）に詳細な実践記録が掲

載されている。

42. 『ぐんぐりと山ねっ』と子どもたち」2005年12月『語り合う文学教育』第4号
43. 「子どもの読みに向き合う」2007年2月『語り合う文学教育』第5号
44. 「子どもたちの読みから考える『いんぎつね』」2008年3月『語り合う文学教育』第6号
45. 『きつねの窓』はだれの窓？」2008年5月『日文協 国語教育』第38号
46. 「読み手の身体感覚を通すこと」2008年5月『月刊国語教育』東京法令出版
47. 「人物像を刻む」2009年2月『語り合う文学教育』第7号
48. 「二つの『大きなかぶ』ー小学校での物語作品の授業を考えるー」2009年8月『日本文学』第58巻第8号
49. 「作品として立ち上げる」2010年2月『語り合う文学教育』第8号

50. 「物語の授業と自立」2011年3月『語り合う文学教育』第9号
51. 「物語の語り・読み手の言葉ー『いんぎくと』くー」2011年8月『日本文学』第60巻
第8号
52. 「授業を考える」2012年3月『語り合う文学教育』第10号
53. 「物語の『学習の手引き』を考える」2013年3月『語り合う文学教育』第11号
54. 「教材研究とは何のために何をどうすることかー読み手のことばのしくみをゆるがす
語りのしかけを見い出す」2014年2月『国語科年報・思草』第8号
55. 「場面の立ち上げと物語の意味」2014年3月『語り合う文学教育』第12号

(編集・守田庸一)